

日時：2023 年 5 月 28 日（日）12:00～12:50

会場：（子規博）講堂

総合司会：有光 興記（理事長）

議事に先立ち、2023 年度 第 31 回大会（人間環境大学）実行委員会委員長の伊藤義徳理事よりご挨拶をいただいた。その後、伊藤理事が議長として選出された。

【審議事項】

1. 2022 年度の決算案

- ・有光理事長より説明があり、審議の結果、承認された。
- ・村田監事より監査報告があり、正確かつ妥当であると認めたことが報告された。これに関連して、学術活動等補助金（セミナー等に使用）が予算化されているものの、ここ 2 年ほど執行されていないことへの指摘があった。有光理事長より、昨年度は感情心理学会としてのセミナー開催できたものの、他の予算（研究費等）によって費用が賄われたため、当該予算が執行されていないことの補足があった。

また、監査とは別に、総会の参加者が少ないこと、とりわけ若手の参加者がほとんど見られないため、総会の参加者が増えるような工夫をぜひ考えてほしいとの意見があった。

2. 2023 年度の前算案

- ・有光理事長より説明があり、審議の結果、承認された。

【報告事項】

1. 会勢報告

- ・有光理事長より、現在の会員数は 400 名であることが報告された。

2. 2022 年度（第 30 回）大会（関西学院大学）の会計報告

- ・一言第 30 回大会事務局より、第 30 回大会の会計報告があった。

3. 各委員会報告

<学術プログラム委員会>

- ・木村委員長より、昨年度の活動状況報告がなされた。

<感情心理学研究編集委員会>

- ・佐藤委員長より、昨年度の活動状況報告がなされた。また、感情心理学研究を現在の 1 巻 3 号体制から 2 号体制へ移行すること、審査サイクルの緩和（「原則として」3 往復とする）などの変更を行い、併せて諸規程を変更する予定であることが報告された。

<エモーション・スタディーズ編集委員会>

- ・藤村副委員長より、昨年度の活動状況報告がなされた。また、2023年度の特集企画について期限まで応募がなかったため、5月末日まで延長し、特集企画を依頼中である旨の報告がなされた。

<倫理委員会>

- ・伊藤委員より、特に報告すべき事項はないことが確認された。

5. 来年度以降の大会開催

- ・有光理事長より、2024年度（第32回）大会は、大阪体育大学（大会委員長：手塚洋介先生）で開催予定であることが報告された。
- ・続いて、第32回大会実行委員長（手塚洋介先生）よりご挨拶をいただいた。

【表彰関係】

- ・有光理事長より、各賞の授賞者について報告がなされた。

・優秀論文賞：

池田 慎之介先生（対象論文は以下のとおり）

感情語彙サイズ推定テストの開発—コンピュータ適応型テストを用いて—(第29巻2・3合併号)

・大会発表賞

- ・優秀研究賞：木村 健太先生（共著者：金山 範明先生，片平 健太郎先生）

題目：心臓からの内受容信号はリスク下での意思決定を調節する

- ・優秀研究賞：鈴木 敦命先生（共著者：石川 健太先生・大久保 街亜先生）

題目：高齢者の直感的信頼は若年者に比べて正確性が高くバイアスが弱い

- ・独創研究賞：高野 了太先生（共著者：田岡 大樹先生）

題目：ポジティブ・ネガティブなスピリチュアル経験と人生の意味の関係—フィールド研究—

- ・グッドプレゼンテーション賞：山本 晶友先生

題目：感謝により不正の隠ぺいが正当化される可能性の検討—隠ぺいにインセンティブがある場合の検討—

- ・グッドプレゼンテーション賞：池田 慎之介先生

題目：感情語彙サイズがストレス及び幸福感に及ぼす影響

- ・精励発表賞：池田慎之介先生

以上